



取締役会長
若林 勝三

取締役社長
入江 正道

はじめに

皆様には、日頃より格別のご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

当社は、国内唯一の家計地震保険の再保険専門会社として昭和41年に設立されて以来、現在に至るまで再保険金の支払態勢の強化・充実に努めるとともに、その裏付けとなる資産の管理・運用にも十分意を用いてまいりました。

昨年は、平成23年東北地方太平洋沖地震の発生により、わたくしどもは全社一丸となって、地震保険の「被災者の生活の安定に寄与する」という社会的使命を遂行するため、地震保険制度発足以来最大の1兆円を超える保険金のお支払いを国、損害保険業界と一体となって取り組んでまいりました。

今回の巨大地震の影響により、日本の地震活動、火山の噴火活動が活発になったと言われております。未だ余震が続く中、将来発生が懸念される首都直下地震や東海・東南海・南海の3つの連動巨大地震等、これから発生する地震等に十分に備えた対策を講じていかなければなりません。

このような状況下、地震保険に対する国民の期待、関心が高まるとともに、当社が果たす役割と責任は一層重くなり、今まで以上に厳しい経営が求められるものと思います。

当社では、今年度から第3次の中期経営計画がスタートしますが、新経営体制のもと地震保険制度の充実・発展に積極的な役割を發揮し、ステークホルダーから信頼される会社へ発展するために邁進する所存です。

このディスクロージャー誌「日本地震再保険の現状2012」は当社の現状と活動を明らかにするために作成いたしました。当社のホームページもあわせてご覧いただき、当社の事業活動についてご理解を賜るとともにご意見を頂戴できれば幸いです。

平成24年7月

日本地震再保険株式会社

取締役社長

入江 正道